



2018年4月6日

～ サミットは、環境分野における社会貢献活動を進めます ～

「赤ちゃん木育広場」普及活動の支援実施

弊社は2012年より、環境分野における社会貢献活動として、国産木材の利用促進と子育て支援を目的とした「赤ちゃん木育広場」普及活動への支援を行っています。

今年度は品川区の5施設と区内で活動する10の子育て支援団体・個人に「木育おもちゃセット」を寄贈します。

支援にあたっては、「地球がよろこぶボーナスポイントセール」時の寄付金と、店頭で回収したアルミ缶・紙パックの売却代金の一部を活用しています。活動の初年度に、杉並区の施設と区内で活動する子育て支援団体に「赤ちゃん木育おもちゃセット」を寄贈して以来、世田谷区、中野区、豊島区、北区と支援を広げ、今回の品川区で6回目となります。

今回の木育おもちゃには、弊社が2006年から10年間、森林整備を行った山梨県丹波山村の間伐材に加え、品川区が「ふるさと交流協定」を締結している山梨県早川町産の間伐材を使用したおもちゃも贈呈します。

1. 「赤ちゃん木育広場」とは

「赤ちゃん木育広場」は、特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会 東京おもちゃ美術館が推進しているものです。赤ちゃんの月齢に応じた木のおもちゃの遊び方や効果を説明し、乳幼児期から木に触れることの効果について意識啓発を行います。

過去に寄贈した団体や自治体の施設では、支援期間終了後も独自に木育イベントを行うなど、おもちゃセットを活用しています。

2. 「赤ちゃん木育広場」の実施方法

- (1) 対象者…0才～2才位までの乳幼児とその保護者
- (2) 実施場所…品川区内の児童センターや公民館などの遊戯施設
- (3) 実施方法…インストラクターが木のおもちゃの使用方法や月齢に応じた効果を説明しながら親子で遊ぶイベントを行います。

3. 「赤ちゃん木育広場」普及活動支援実施までの流れ

- (1) 募集期間…2018年4月1日～5月31日（必着）
- (2) 応募条件…①品川区内の営利を目的としない組織・団体・個人であること。
②品川区内における子育て支援活動、環境教育活動、地域支援活動などの経験あること。

③寄贈する「木育おもちゃセット」を活用して、広く地域の人に関われた「赤ちゃん木育広場」を設定した期間内(約8か月)に3回以上実施し、報告書を提出することができ、以降も継続して広場を開催できる方。

④6月19日開催(於：新宿東京おもちゃ美術館)の取り扱い説明会に出席できる方。
詳しくは、募集要項をご覧ください。

(3) 広報…品川区及び社会福祉法人品川区社会福祉協議会の後援で、区内子育て支援団体などへの呼びかけを行います。また、東京おもちゃ美術館及び公益財団法人オイスカのホームページにも掲載を行います。

公益財団法人オイスカホームページ：<http://www.oisca.org/news/?p=10658>

(4) 応募方法…応募用紙を公益財団法人オイスカのホームページよりダウンロードの上、郵送、FAX、Eメールにてお申し込み下さい。

申込先： 公益財団法人オイスカ 啓発普及部 国内環境事業担当宛
〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-5 FAX 03-3324-7111
E-mail： mokuiku@oisca.org

(5) 選考…公益財団法人オイスカ、特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会、弊社で選考を行います。

(6) 寄贈式…2018年6月に実施予定

(7) 取扱い説明会の実施…6月19日に新宿区四谷の東京おもちゃ美術館で取扱い説明会を実施します。

(8) 活動報告の実施…寄贈対象者には活動報告書を提出していただきます。

4. 具体的スケジュール

日程	実施スケジュール
2018年	4月1日 公募告知開始 ※
	5月31日 公募締切
	6月上旬 寄贈先団体・個人の選考と決定
	6月19日 取扱い説明会実施 ※
	6月中 寄贈式
	7月 品川区内子育て支援施設での利用開始
	7月～'19年2月 寄贈先団体・個人が区内各所にて「赤ちゃん木育広場」を実施併せて、視察、情報交換を実施します
2019年	3月 「赤ちゃん木育広場」の実施報告書提出

※ 公募・説明会は、区内で活動する10の子育て支援団体・個人が対象となります。

5. おもちゃセットの内容 (16セットの中の一部)



クルクルサンサンカ



ふくろうのつみき



小さな森の合唱団琉球版



Tuminy

以上